



2013 アオイ電子カップ 第11回 香川県オープンゴルフ選手権競技

開催日：平成25年11月27日(水)、28日(木)

開催コース：高松グランドカントリークラブ

主催 香川県ゴルフ協会
共催 香川県オープンゴルフ実行委員会
後援 四国ゴルフ連盟社
四国新聞社
K S B 瀬戸内海放送
R N C 西日本放送

JGAゴルフ規則を適用する。ゴルフ規則と付属規則Iの規定は最新のゴルフ規則が適用される。
ただしゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に記載されている場合を除き、
ローカルルール及び競技の条件の罰は2打の罰とする

競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

『公認球リストの条件・ゴルフ規則付I(C)1b』を適用する。

4. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付I(C)1a』を適用する。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付I(C)5b』を適用する。

7. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b、c、dに従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間でいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に定められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。
この条件の違反の罰は競技失格(ゴルフ規則6-8b注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

a. 通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。及び競技委員を通じて競技者に連絡する。

b. 険悪な気象状況：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。及び競技委員を通じて競技者に連絡する。
による即時中断

c. プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。及び競技委員を通じて競技者に連絡する。

8. 移動

本競技では、プレーヤーのゴルフカートの使用および乗車を認める。但し、ゴルフカートはプレーヤーの携帯品の一部とする。そのカートとカート上の全ての物は、球との関連で問題が生じた場合、その球の持主であるプレーヤーの携帯品とみなす。但し、そのカートを共用しているプレーヤーの一人がこれを動かしていた時、または一人のプレーヤーの指示で共用のキャディーが動かしていた時は、そのカートとカート上の全ての物はカートを運転しているプレーヤー、または特定の指示を出したプレーヤーの携帯品とする。

9. スコアカードの提出

本競技においては、エリア方式を採用する。

《裏面に続く》

10. キャディー

帯同キャディは、これを認める。

11. 順位の決定

36ホールを終わり各クラスの第1位がタイの場合は、10番、17番、18番を使用してのホールバイホールによるプレーオフにて第1位を決定する。2位以下はプロの部はタイ位とし、アマチュアは①最終日のスコア②最終日のINコースのマッチングスコアカード方式③17番ホールからのカウントバックで順位を決定する。

12. 使用ティーマーカー

青マークを使用する。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. 修理地(規則25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。

3. ラテラルウォーターハザード(規則26-1)

ラテラルウォーターハザードは赤線をもってその限界を標示する。

4. 動かさない障害物(規則24-2)

- a. 排水溝
- b. 電磁誘導カート用の2本(又は4本)の人工の表面を持つ軌道は全幅をもってカート道路とみなす。
- c. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす、わだち跡を含む)
- d. グリーンに近接する動かさない障害物について、『ゴルフ規則付I(B)6』を適用する。

5. コースと不可分の部分

樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの。
16番、17番ホールラテラルウォーターハザード内の土留め用コンクリート。

6. 予備グリーン

予備グリーンは、スルーザグリーンとしあるがままの状態プレーしなければならない。
ただし、他の規則の規定が適用できる場合を除く。

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加・変更のある時は、掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは、使用禁止とすることがある。
3. コース内での携帯電話は、委員会の許可なく使用することを禁止する。
4. 練習は指定練習場で行い、打ち放し練習場においては備え付けの球を使用し、1人1コイン(25球)を限度とする。
5. 本競技は帯同キャディを認めていますが、希望選手は必ず11月20日までに高松グランドCCに連絡すること。
尚、選手については乗用カートの乗車を認めます。

※コース内の予備グリーンの扱いについて

通常営業日(練習Rを含む)はプレー禁止の修理地としますが、競技当日2日間はスルーザグリーン扱いとしますので、そこに球がある場合(スタンスがかかる場合も含め)は、あるがままの状態プレーしなければなりません。